

## 観光消費額に係る京都市域への経済波及効果及び国との比較

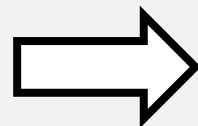
28年京都市観光消費額

1兆862億円

※うち京都市域外からの調達分2,594億円

直接効果

市内生産額 8,268億円  
粗付加価値 4,733億円  
雇用効果 10万7千人



波及効果

経済波及効果 1兆1,772億円  
(※市内生産額の1.42倍)  
粗付加価値効果 7,008億円  
雇用誘発効果 13万1千人

## ◆京都市内及び国との経済波及効果等の規模比較◆

		京都市				国		
		平成21年	平成26年	平成21年と26年の比較	平成21年	平成26年	平成21年と26年の比較	
経済波及効果 (生産波及効果)	観光消費由来	6,599億円	8,265億円	+1,666億円	53.1兆円	46.7兆円	△6.4兆円	
	全産業	9兆4,500億円 (年度)	9兆9,393億円 (年度)	+4,893億円	874.3兆円	945.8兆円	+71.5兆円	
	全産業に占める比率	7.0%	8.3%	+1.3ポイント	6.1%	4.9%	△1.2ポイント	
粗付加価値効果 (粗付加価値誘発額)	観光消費由来	3,928億円	4,920億円	+992億円	27.1兆円	23.7兆円	△3.4兆円	
	全産業	5兆9,385億円 (年度)	6兆1,638億円 (年度)	+2,253億円	470.9兆円	486.9兆円	+16.0兆円	
	全産業に占める比率	6.6%	8.0%	+1.4ポイント	5.8%	4.9%	△0.9ポイント	
雇用誘発効果 (雇用者誘発数)	観光消費由来	7万4千人	9万2千人	+1万8千人	462万人	394万人	△68万人	
	全産業	76万5千人	74万7千人	△1万8千人	6,328万人	6,514万人	+186万人	
	全産業に占める比率	9.7%	12.3%	+2.6ポイント	7.3%	6.1%	△1.2ポイント	

※「京都市民経済計算」、「経済センサス基礎調査」及び観光庁「旅行・観光消費動向調査」を基に京都市作成。  
※比較可能な最新のデータが平成26年であるため、平成21年と平成26年を比較している。

※本市の観光消費額は暦年の数値であり、市民経済計算は年度の数値である。  
※国の数値は、UNWTOが示す国際基準に基づいた推計値で、参考値として比較している。